



Title	語文 第37輯 表紙/目次
Author(s)	
Citation	語文. 1980, 37
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68664
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

昭和五十五年九月二十日発行

大阪大学国文学研究室編輯

語

文

第三十七輯

指示詞「それ」省略の可否について	佐竹久仁子	1
日本語と韓国語の受身表現	鄭秀賢	12
—その対照研究—		
影印『手縕舟』卷六	永野仁	23
解説『手縕舟』	米川明彦	59
手話言語の単位体	一	22
昭和五十五年度講義題目		

前　号　目　次

三組の仮名イ・ヰ、ヰ・ヰ、ヲ・オに対する

契沖の観念について……………クリス・シリリー…一

「ている」について……………紙谷 栄治…10

語の多義性について……………大鹿 薫久…二〇

—動詞「つく」を例として—

上代における手から肩までの呼び方をめぐって……………前田 富祺…三三

影印『手縫舟』卷五……………豊

昭和五十四年度講義題目……………豊